

## 耐環境半導体デバイス工学研究室

2025年度も皆さんよく働きました。2026年2月に還暦記念パーティーをやってもらい、3月に織田君、山口君が博士(工学)を無事取得、M2 1名が社会に巣立ちました。M2の3名は博士課程、B4の2名は修士課程にそれぞれ進学し、2026年4月からは教職員:11名、学生:11名、総勢22名体制で教育・研究に取り組んでいます。

織田君が主担当として開発を進めてくれた福島第一原子力発電所廃炉用ダイヤモンド中性子検出器開発は原子力英知事業で優れた成果を得られたことから、エネ庁・補助事業で開発が継続されそうです。その内容が毎日新聞出版社の雑誌で紹介されました。

ダイヤモンド半導体開発は高周波デバイス(防衛装備庁公募事業)と耐環境デバイスの開発(F-REI事業他)を着実に進めています。2025年4月から博士研究員の関さんが来てくれたことで、なかなか手が回らなかった学生の面倒を見てくれるようになり、いやーっ、楽になりました。研究成果も着実に上がり、特にダイヤモンドに対するイオン注入技術関連でM2の上原さんが2つ賞をいただきました。共同研究先がこれまで困難だった $n^+$ ドーピングに成功したので、北大でデバイス化をガンガン進めています。2026年度は世界初、世界最高を連発しますのでどうぞ期待(笑)

研究室発ベンチャー企業の大熊ダイヤモンドデバイス社も頑張っており、2026年5月末に福島県大熊町に建設中の工場の竣工式を行う予定です。経済産業副大臣も御参列くださるとの事で、1F 廃炉・福島復興への期待を裏切らないよう研究開発でしっかり支えていきたいと思えます。

研究室ホームページ: [耐環境半導体デバイス工学研究室 \(金子研\)](#)



福島第一原子力発電所のおひざ元である福島県・大熊町に建設中の大熊ダイヤモンドデバイス社福島第一工場。世界初のダイヤモンド半導体デバイス製造工場! (2026年2月撮影)